

第30回 第2章 現代の経済

第4節 福祉社会と日本経済の課題

講師

中小企業の現状と課題

赤荻雅己

学習のねらい

中小企業は大企業と比べ経営は小規模ですが、中小企業なしでは日本の経済は成り立たないといわれています。この中小企業の特徴と役割を理解すること、それはこれからの日本の経済を考えるうえでも大切なことです。まず、中小企業の日本の経済に占める位置、そして大企業との違いを学び、さらにさまざまなタイプの中小企業を調べ、どのように活躍しているのかを理解しましょう。

調べておこう
覚えておこう

日本経済の二重構造／地場産業／中小企業基本法／
町工場／下請け／ベンチャービジネス／後継者／ニッチ

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

中小企業とは？

中小企業とは、資本金や従業員数の規模が小さい企業のことです。1963年に制定された^① _____ によると、中小企業は、産業によって違いがありますが、製造業、そのほかでは資本金3億円以下、従業員数は300人以下の企業と定義されています。高度経済成長以来、自動車や家電製品など製造業が大きく発展しましたが、その発展を支えたのが、部品の製造や加工を行う中小企業で、町中にある小さな^② _____ でした。中小企業は、こうした製造業だけでなく、建設業、小売業、サービス業などさまざまな分野で経済を支え、その企業数は日本の全企業数の99.7%を占めています。大企業は0.3%にしかすぎません。さらに中小企業は、従業員数で全体の7割を、生産額では5割を占め、日本の経済において大きな役割を果たしています。

POINT 2

大企業と中小企業

大企業と中小企業との間には、設備や賃金、生産性などで大きな格差があり、この格差を^③ _____ といいます。その理由として、資金の準備が大企業に比べて難しい、優秀な人材が集まらないなどが挙げられます。さらには、親企業である大手メーカーから部品の注文を受け生産する「^④ _____ 」という関係も指摘されています。

売り上げの大半を親企業に依存しているため、たとえば親企業による部品単価の引き下げを受け入れるなど、弱い立場になりやすいからです。しかし今日では、工業化が進むなか、中小

企業の技術開発や経営努力もあり、その格差は縮小したともいわれています。

POINT 3

魅力ある中小企業を調べよう

中小企業にはさまざまなタイプがあります。高度経済成長以来、高度な加工技術を持ち精密部品を作る町工場は、^⑤.....が育たないという悩みを抱えながらも、今日も日本の製造業を支えているところもあります。独自に開発した製品を、世界に輸出する企業も育っています。また、織物、和紙、漆器、陶磁器など、特定の地域を産地とする伝統的な^⑥.....も多くは中小企業で、地域の経済を支えてきました。一方、大企業では採算が取れないとされる^⑦.....産業に活路を見いだす中小企業もあります。たとえばアニメ、アイドル、ゲームなどの娯楽市場、そして高齢化社会を迎えた介護の分野でも新しいサービスが生まれ、私たちのニーズに応えています。さらには、未開拓の領域で新しい開発と事業を行う^⑧.....でも中小企業は活躍しています。



Handwriting practice lines (dotted lines)

答え
①中小企業基本法 ②町工場 ③日本経済の二重構造 ④下請け ⑤後継者 ⑥地場産業
⑦ニッチ ⑧ベンチャービジネス